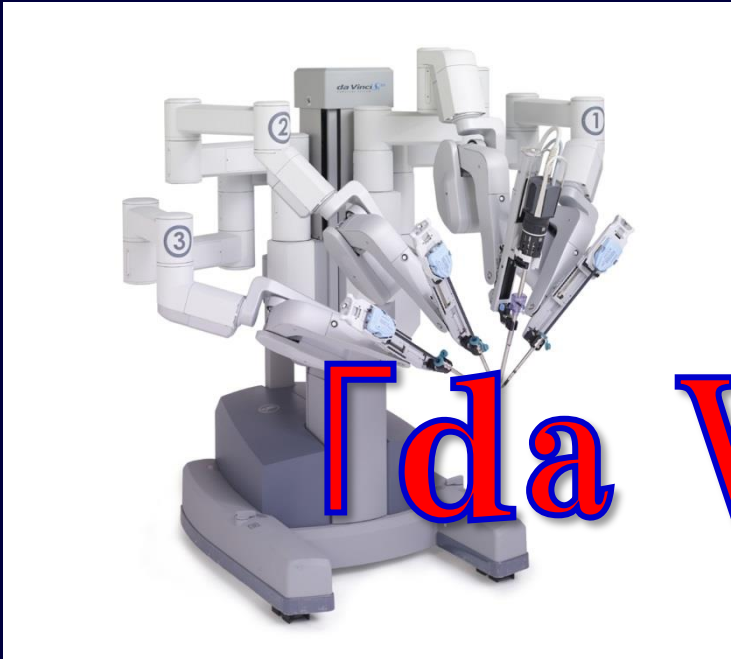


H30.2月 手術支援ロボット



「da Vinci Si」 導入。

当院では、最新の低侵襲治療として話題の「ダヴィンチ」を導入し、より安全で術後の回復等に優れる「ロボット手術」を開始しました。現在、保険適用のある**前立腺がん全摘出、腎がん部分切除**に対応しています。



<ロボット手術の特徴>

従来の開腹手術に比べて・・・

- ◆術後の回復が早い
 - ・痛み、出血が少なく、輸血がほぼ不要。
 - ・手術の翌日からの食事、リハビリが可能。
- ◆後遺症が軽減され
生活の質を保てる
 - ・前立腺の回りの神経・筋肉の損傷を減らすため、手術後の失禁が早期改善される。
 - ・勃起機能の温存、早期回復が可能。
- ◆術後の整容に優れる
 - ・傷口が小さいため、傷跡があまり残らない。

<ダヴィンチの概要>



①コントローラーと、
②アーム先端の鉗子が連動。

①サージョン コンソール

…術野を3D画像で立体的に見ながら、離れた②パシエントカートの鉗子と内視鏡モニタを遠隔操作。左右のコントローラーを2本の指で操り、鉗子やハサミ、持針器を操作して組織の切断、縫合などの精妙な施術が可能。

②パシエント カート

…患部に挿入された3本の鉗子と1本の内視鏡モニタが動き、手術を実施。人間の手と同等以上の可動域を実現。
先端の鉗子は用途に応じた機材に交換可能。

③ビジョン カート

…術野の鮮明な3D画像をリアルタイムで提供。画面上に指をタッチして線などを描き、視覚的なコミュニケーションが可能。



ロボット手術は今、スタンダードな低侵襲治療として認められつつあります。
平成30年度の診療報酬改定では、新たに胃がん、肺がん、食道がんなど、
新たに12件での保険適用が承認されています（H30.2月現在）。

当院でも今後、泌尿器科に限らず、より広い分野において、患者さんに安全で高度な治療を提供できるよう、順次体制を整えてまいります。